



# 交通事故の発生状況と死亡事故の特徴



～ 令和8年1月末現在 ～

県内の交通死亡事故 3 件 3 人 (前年比 + 1 件 + 1 人)

## 1 交通事故発生状況 (令和8年1月31日速報値)

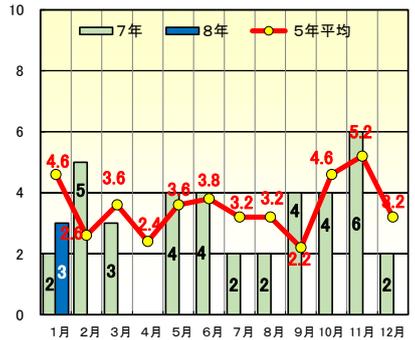
区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	347	3	3	43	376	419
前年	337	2	2	44	375	419
増減数	10	1	1	-1	1	0
増減率	3.0	50.0	50.0	-2.3	0.3	0.0

区分	死者の状態別(人数)					高齢死者の状況(人数)		高齢運転者による事故死者数
	四輪車	二輪車	自転車	歩行者	その他	高齢者	高齢歩行者	
本年	0	0	0	3	0	1	1	0
前年	0	0	0	2	0	1	1	0
増減数	0	0	0	1	0	0	0	0
増減率	-	-	-	50.0	-	0.0	0.0	-

## 2 全国及び東北の死者数 (令和8年1月31日速報値)

区分	全国	東北	宮城県	青森県	岩手県	秋田県	山形県	福島県
本年	196	10	3	2	3	1	0	1
前年	234	18	2	3	3	1	2	7
増減数	-38	-8	1	-1	0	0	-2	-6
増減率	-16.2	-44.4	50.0	-33.3	0.0	0.0	-100.0	-85.7

(人) 【令和8年月別交通事故死者数】

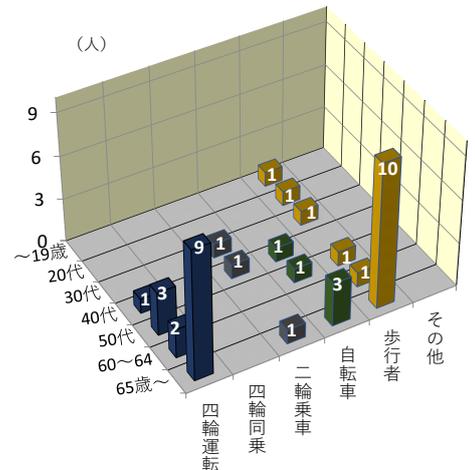


## 3 令和8年1月末の交通死亡事故

令和8年1月末の交通死亡事故は3件3人で、前年と比べて+1件+1人となっています。

また、死者の状態別で見ると、すべて歩行者（前年比+1人）となっています。

【令和7年状態別年齢別死者数】



## 4 令和7年中の交通死亡事故等の主な特徴

### (1) 高齢運転者による死者数が約4割

高齢運転者による事故は15件15人で、前年と比べて+3件+3人で、全死者数の約4割（39.5%）を占めました。

これは、高齢運転者の統計を開始（平成元年）して以来、最も高い割合となりました。

### (2) 歩行者が増加し、二輪車が大幅に減少

死者の状態別では、歩行者が15人（前年比+2人）と増加しましたが、二輪車が3人（前年比-9人）で、前年と比べ半数以下と大幅に減少しました。

### (3) 交通事故死者の約6割が高齢者

高齢者が死亡する交通事故は23件23人で、前年と比べて-3件-3人でしたが、全死者数の約6割（60.5%）を占めました。

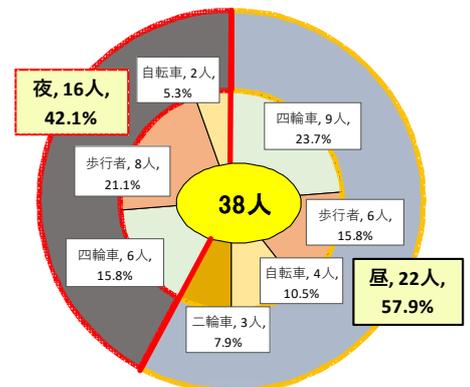
高齢死者の状態別では、歩行中が10人、四輪車が9人、自転車が3人、二輪車が1人となっています。

歩行中の死者は、約7割（15人中10人。66.7%）が高齢者で、四輪車の死者（15人中9人。60.0%）と自転車の死者（5人中3人。60.0%）については、それぞれ6割を占めました。

### (4) 飲酒運転による人身交通事故発生状況（一般原付以上の第1当事者）

飲酒運転による人身事故は32件（死者1人、負傷者38人）で、前年と比べて、発生件数-7件、死者+1人、負傷者-6人でした。なお、発生件数は統計を開始（昭和42年）して以来、最も少なくなりました。

【令和7年昼夜別・状態別死者数】



「冬道の安全運転1・2・3運動」実施中！！

～1割のスピードダウン 2倍の車間距離 3分早めの出発～

宮城県警察本部交通企画課